

地域を元気ハツラツとする基金が誕生

地域が主体となってまちの活性化を目指す事業のため、にこにこ地域づくり基金（2億5,250万円）を人口割等によって市内10地区に配分する。なお、基金は令和13年度までの10年間で使用することとしている。

委員：以前、地域力向上事業補助金が配られたが使い方に困り、結局、内容もないまま各区に補助金を分けてしまった地区もある。また同じようになってしまうか。

理事者：地域の文化継承など、有意義な使い方をした例もある。前回は5年間で使い方にもいろいろ縛りがあったが、今回はある程度自由としている。

子育て支援の充実を図る

保育料に関しては、現在、第3子以降または年収360万円未満相当世帯の第2子を無料にしている。また、2人以上同時入園の場合、2人目を半額、さらに3～5歳児の副食費の免除では、世帯の第3子以降または年収が360万円未満相当世帯を無料にしている。

さらに、令和4年9月から0～2歳児の保育料に関して、世帯収入が640万円未満の方の第2子の保育料無料化にするなど、子育て支援の充実に力を注いだ予算となっている。その他、保育所等のICT化や熱中対策、園舎施設整備等への支援に対する予算も組み入れ、これら子育て支援政策は市議会も応援している。

見ても恐竜！入っても恐竜！

恐竜店舗改修事業補助金として900万円が計上された市の独自事業。お店を恐竜と分かるインパクトのある外装にしたり、恐竜をあしらった設備や備品を配置することに対して助成する。新年度は3件の申請を予定している。

委員からは、改修内容をどこまで求めているかが分かりづらく、要綱や事業内容をかなり精査しなければならない。行政内部、事業者と綿密に打ち合わせを行うべきと示され、理事者からは今回の3件が今後のモデルとなってもらえるよう取り組むとの答弁があった。

勝山ニューホテルを民間に譲渡

理事者から、勝山ニューホテルの民間譲渡の話がまとまったとして、それに関する予算説明があった。内容は主に次の3点。

- ①民間事業者へ建物を無償譲渡し、市有地を6,300万円で売却する。
- ②市の都合で指定管理期間が短くなり、現指定管理者に契約解約金700万円を支払う。
- ③ホテル改修に活用した国の補助金の返還が生じる。（令和9年度までに2,930万9,000円以内）

委員からは、今後の指定管理料や修繕料を市が負担しなくて済むこととなるため、賛同する意見が多く出た。

理事者は、他の観光誘客施設の民間譲渡も進めていきたいとしている。